臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	「前眼部OCTの角膜屈折力と影響因子」
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：大黒 正志
研究責任者	金沢医科大学病院　医療技術部　心身機能回復技術部門　視能訓練士　三田哲大
研究参加拒否 申込受付期間	2027年3月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ～　2028 年 3 月 31日
対象者	2016年4月から2025年3月までに金沢医科大学病院で白内障手術を受けた20歳以上の方および2016年から2023年までに石川県輪島市門前町で眼科学講座が主催で行った門前検診受診者
当該研究の意義・目的	角膜屈折力および角膜乱視は瞳孔径によって異なることが知られています。これらは白内障手術成績に影響する因子ですが、瞳孔径によってこれらがどのように変化するかについて詳細な検討はされていません。そこで角膜屈折力および角膜乱視と瞳孔径の関係および測定精度と眼球形状の影響を検討します。
方法および研究で利用する試料・情報の取得方法	本研究は角膜屈折力、角膜乱視、瞳孔径、眼軸長、角膜径、前房深度を診療情報から使用し、解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。集められたデータは学内規程に則り、研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への試料・情報の提供又は利用	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反と資金について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。この研究に必要となる資金は金沢医科大学 学内運営費より支払われます。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。 この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院　眼科　視能訓練士　三田哲大 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1　：（代表）076-286-3511　内線（7301）